



宮崎大学 CO2削減ロードマップ

2030年CO2排出量の**51%削減**（2013年度比）に向けて

・CO2削減に向けた基本方針

取組項目	取組内容
①建物新築及び既設建物改修時はZEB化を目指す	<p>1.新築時はZEB-Redeyを目指す（BEI\leq0.5）</p> <p>方策① 建物断熱仕様 ・屋上：硬質ウレタンフォーム t50 ・外壁：吹付硬質ウレタンフォーム t25</p> <p>方策② 建具仕様 ・南面：Low-E5+A6+FL5 ・その他：FL5+A6+FL5</p> <p>方策③ 高効率空調機へ更新（人感センサー連動を検討） 全熱交換機設備へ更新（CO2センサー連動を検討）</p> <p>方策④ LEDへ更新（居室：在室検知センサー及び昼光センサー）</p> <p>方策⑤ 太陽光発電設備の設置を検討</p> <p>2.大規模改修時はZeb-Orientedを目指す（BEI\leq0.6） 方策①～⑤ 新築時と同じ</p>
②電気・機械設備の更新	<p>①20年以上経年した設備を更新</p> <p>②CO2排出係数とLCCコストを総合的に判断し決定 （例：ガスから電気など、同型機更新でなく、ゼロから検討すること）</p> <p>③維持管理コストを考慮し、ユーザーへの説明が必須</p>
③再生可能エネルギー設備の新設・改修	<p>①太陽光発電設備を新設</p> <p>②LCCコスト及び更新コストを考慮し、総合的に判断する</p>
④啓発活動	<p>①部局別エネルギー報告（月1回）をポータルに掲示</p> <p>②省エネパンフレット周知、待機電力キャンペーンの実施及び夏期・冬季の節電対策へ取り組む</p> <p>③エネルギー量の多い夏期・冬季の使用量、料金を理事・役員・部局長へ全学会議で報告する</p>



宮崎大学 CO2削減ロードマップ

2030年CO2排出量の**51%削減**（2013年度比）に向けて

・CO2排出量削減ロードマップ

学部名	期	面積 (㎡)	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
			年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
			第3期			第4期						第5期		
農学部改修 ・建物全面改修 ①BEI≤0.6 ②高効率空調 ③LED化	I期	4,060	■											
	II期	5,410		■										
	III期	5,670			■									
	IV期	4,370				■								
	V期（獣医）	5,900					■							
工学部改修 ・建物全面改修 ①BEI≤0.6 ②高効率空調 ③LED化	I期	5,484						■						
	II期	5,094							■					
	III期	5,398								■				
教育学部等改修 ・建物全面改修 ①BEI≤0.6 ②高効率空調 ③LED化	I期	5,000									■			
	II期	5,000										■		
	III期	5,000											■	
	IV期	4,000												■
太陽光発電設備	PPA事業						■							
高効率空調機改修			■											
蛍光灯のLED化			■											

※ 建物全面改修、高効率空調機、LED化により、CO2排出量を対前年度比で毎年度▲1%を目標とする。